

2020年10月27日

株式会社アーバンエックステクノロジーズ
三井住友海上火災保険株式会社

ドライブレコーダーを活用した 社会インフラメンテナンス支援に向けた実証実験の開始

株式会社アーバンエックステクノロジーズ（代表取締役：前田 紘弥、以下「アーバンエックス」）と三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之、以下「三井住友海上」）は、本日、ドライブレコーダーを活用して社会インフラのメンテナンスを支援する実証実験の開始について合意しました。

アーバンエックスは、スマートフォンカメラで撮影した画像のAI分析により、道路の損傷箇所を検知するシステムを開発し、現在まで20以上の自治体で実証実験を行ってきました。今般、三井住友海上の専用ドライブレコーダーをアーバンエックスに提供し、両社でドライブレコーダーを活用した実証実験を開始することで、自治体等における道路等、社会インフラのメンテナンスを支援していきます。

アーバンエックスと三井住友海上は、オープンイノベーションにより社会課題の解決を図り、安心・安全な社会の実現に貢献していきます。

1. 背景・目的

自治体等が実施する道路メンテナンスの点検方法は、主に高額な専用点検車両の使用や専門職員の目視による確認等があり、これらでは、総延長120万kmにおよぶ全国の道路を十分に点検することができず、計画通りに維持管理することが困難な状況です。

今回、三井住友海上の専用ドライブレコーダーに、アーバンエックスのAI画像分析技術を搭載することで、道路メンテナンスの点検業務の高度化・効率化につなげ、道路の適切な維持管理を図ります。

2. 実証実験の内容

アーバンエックスは、三井住友海上が実験用に提供する専用ドライブレコーダーにAI画像分析機能を搭載し、協力を得られた各自治体※による自動車走行を通じて、データを収集することで、道路の損傷箇所を適切に検知できるかどうか、技術的な課題を検証します。また、専用ドライブレコーダーが記録する画像の品質やハードウェアの性能等を検証し、道路メンテナンスの点検業務への有用性を確認します。

※東京都品川区、千葉県千葉市、石川県加賀市、滋賀県大津市、兵庫県尼崎市

3. 道路メンテナンスの点検業務における分析イメージ



<アーバンエックステクノロジーズの概要>

設立	2020年4月7日
本店所在地	東京都目黒区駒場4-6-1 駒場地区キャンパス 連携研究棟（CCR棟）512
代表者	代表取締役 前田紘弥
事業内容	道路点検AIシステムの開発
実績	設立以前から数年にわたり、東京大学 関本研究室と連携して20以上の自治体で、AI画像分析による道路点検の実証を実施しています。代表取締役前田氏の提案が2020年度IPA未踏アドバンスト事業に採択。

以上